

令和5年度 決算 報告

◆問合せ先 財政課財政係
(☎40-0253)

令和5年度の一般会計の概要

歳入総額 191億9,064万円
歳出総額 181億3,259万円

歳入歳出差引額 10億5,805万円

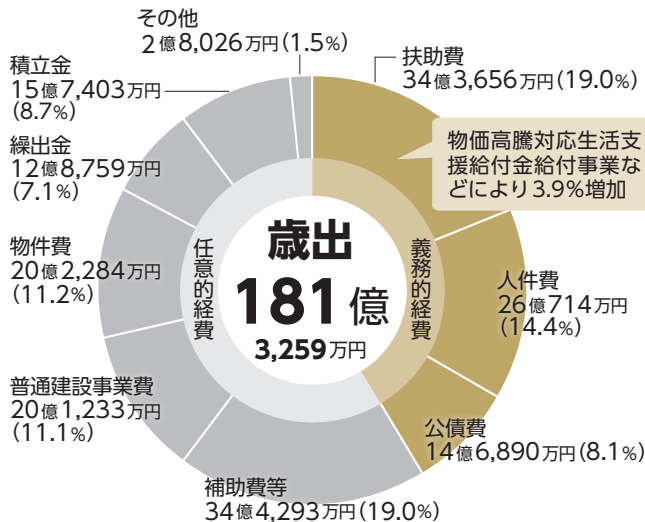
↓ 前年度までの繰越金等と、基金への積立による増減分を除く
実質単年度収支 ▲6,675万円

令和5年度の南陽市の一般会計の概要をお知らせします。
歳入と歳出の差し引きである歳入歳出差引額は10億5,805万円、そこから繰越金、基金積立、取り崩しを除いた実質単年度収支は、6,675万円の赤字となりました。
これからも限られた財源を上手に使い、市民生活に直結する事業を将来にわたって持続していくよう取り組んでいきます。

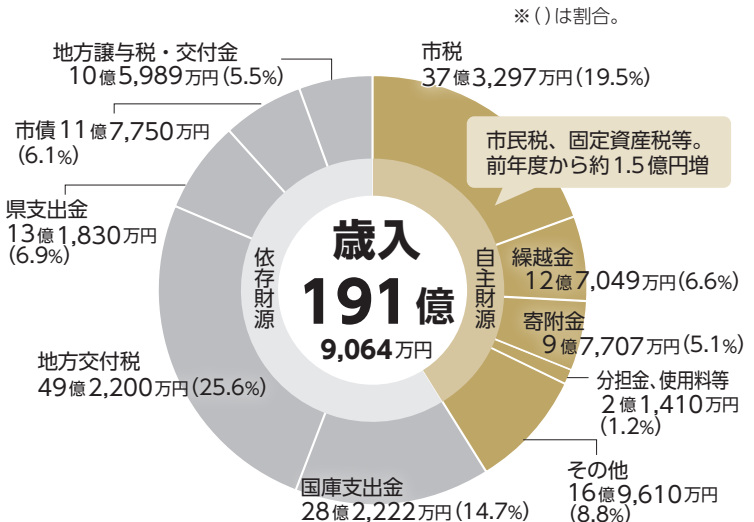
一般会計

歳入・歳出ともに、前年度から増加

※千円の位は四捨五入しています。



歳出決算額は181億3,259万円。前年度から15億5,481万円増加しました。このうち義務的経費では、人件費や扶助費、公債費が増加。扶助費は、物価高騰対応生活支援給付金給付事業などによるものが要因です。任意経費では、宮内地区交流センター整備事業などにより60.5%増加、物件費が全市民応援クーポン事業などにより6.4%増加し、全体で14億1,526万円(15.4%)増加しています。



歳入決算額は191億9,064万円。前年度から13億4,237万円増加しました。このうち自主財源は、市税が前年度と比べて1億5,199万円増加したほか、繰入金や寄附金が増加するなど5億5,747万円の増加です。依存財源も同様に7億8,490万円の増加。地方交付税が2億2,848万円、国庫支出金が1億1,691万円、市債が3億3,110万円増加したことが要因です。

特別会計

全ての特別会計で黒字決算

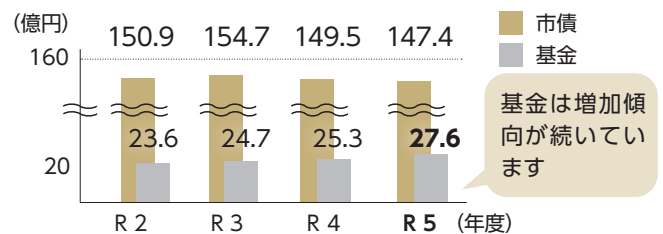
(単位は万円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引
国民健康保険(事業勘定)	31億2,668	31億1,855	813
国民健康保険(施設勘定)	150	148	2
財産区	1億4,705	1億3,906	799
育英事業	742	79	663
介護保険	36億4,795	34億3,389	2億1,406
後期高齢者医療	4億2,851	4億1,347	1,504

特別会計は、5会計(うち国保は2勘定)となっており、全ての特別会計で黒字決算となっています。歳入総額は73億5,912万円で、前年度より6,030万円(0.8%)減少し、歳出総額は71億724万円で、前年度より1億1,442万円(1.6%)減少しています。

市債・基金

基金残高は増加継続



市債残高は、前年度に比べ2億596万円減少しました。また基金は前年度に比べ2億3,671万円増えました。

財政状況について

令和5年度の実質公債費比率は12.6%、将来負担比率は114.7%で、いずれも国の定める基準を下回っています。また、実質公債費比率は、数値を変動させるような大きな要因はありませんでした。将来負担比率は、地方債現在高の減と基金の増により7.8ポイント改善しました。